

(●は各委員発言、○は本校職員の発言)

- 1 日時 令和6年3月5日(火) 15時30分～17時30分
- 2 会場 東棟2階 多目的室
- 3 出席者 【学校運営協議会委員】五十里雅子(校長)、江森克弘(弥栄中学校長)、三ツ堀清司(昭和音楽大学短期大学部教授)、加賀谷育子(光が丘公民館長)、田代秀之(地域有識者)、高野靖彦(同窓会長) 【学校職員】新井良浩(副校長)、日永博之(教頭)、齋藤学(事務長)、冠野由紀子(総括教諭・管理GL)、宮川貴行(総括教諭・教務GL)、菅野光裕(総括教諭・生活GL)、小島喜與徳(総括教諭・進路GL)、鶴田明浩(総括教諭・SIGL)、石川輝(総括教諭・広報・連携GL)、笹原健太(総括教諭・総務GL)、佐藤教道(教諭・書記)

4 次第

(1) 開会の言葉【副校長】

(2) 校長挨拶【校長】

- 過日卒業式を行った。2時間超の長い時間となったが、保護者も生徒も涙しつつ別れを惜しむ良い卒業式となった。生徒が卒業式の歌「正解」を合唱し、しっとりとした感動的な雰囲気醸し出した。
- 学校教育はコロナ感染症流行の前に戻っている。そのことは、教員の出張旅費の増加からも証明される。
- 相模原市から連絡を受けた。美術部の活動に関して市から褒賞がある。
- 美術科の活躍は顕著なものがあり、今年度の受験では東京藝大に複数名受験をしている。一次試験のデッサンに4名中4名全員がクリアしている(内、1名は普通科の生徒)。基礎的な学びが生きている証ともいえる。
- STEAM教育研究指定校5校の一つとして公開研究発表も行った。前向きな取組も多くあり、着実に意識が結実していることは日ごろの授業からもよく感じ取れる。
- 今、課題としてあげると、ハンガリー・オーストリアへの音楽科の研修旅行(姉妹校交流)の費用が高騰していて苦しい。令和6年度も実施するが費用は50万円超の見積もりである。保護者からはぜひ実施してほしいとの要望も強いがどこまで可能かと心配している。
- 情報提供申し上げる。本日届いた情報であるが、部活動の実施形態の制限として、平日・休日ともに休養日を年104日設けること、オフシーズンを作ることなど、活動のルールがいつそう厳格化されることとなる。スポーツ科学科もある中で、厳しい状況となる。対応しながら効果的な活動を図っていかなくてはならない。

○本日、お忙しい中をお越しいただき感謝申し上げます。学校経営への忌憚なきご意見を頂戴したい。

(3) 各グループより【担当総括教諭】

ア 管理グループ 施設管理・防災・PTA・財務

・学校施設及びICTについて

○施設拡充の予算措置がなされたため、トレーニング・ルームを一新し、ピアノも更新する一方、古いものを廃棄した。

○加湿器リースに加えてプロジェクタ（3教室のみ）を拡充した。それにとまなう遮光カーテンの設置も順次進めていく。

○教室の投影用スクリーンについて、従来のロール状のものは破損しやすいため、取り付け型のものに入れ替えていく。現在、試験的に1教室のみ導入した。従来品の10倍の費用が必要だが進めていきたい。

・防災について

○防災倉庫を使いやすく改装した。

○防災訓練をコロナ以前の実際的な形態のものに戻した。

・PTA・同窓会について

○今年度、交通安全大会の幹事校を担当し、一定の結果を残すことができた。

・情報管理について

○今年度より新たなシステムが導入され、遅刻・欠席管理をWEB上で行うこととなったが有効に活用できている。

○創立40周年事業として記念誌を発行した。

○同窓会からの寄付金を活用し、生徒の交流コーナーとして「STEAMコーナー(仮称)」を整備した。今後、アイデアをもらいながら拡充していく。

・その他

○不要物品の処分を進めて校内を整備している。

○防災訓練の今後について見直しを予定している。

○来年度、一人一台端末の完成年度となる。充実した活用をめざしていく。

【質疑・意見 加賀谷委員】

● 防災物品はどういうものか。

○ 食糧の缶詰、水、毛布である。食糧については全生徒×3日分だが、水が若干不足気味。毎年度、買い足している。

イ 教務グループ

○教育課程の見直しを昨年度行い、今年度は新教育課程を施行している。

○授業改善を進める中、1月18日に公開研究授業を行った（1年次対象）。

○英語の外部試験について、44名が単位認定の申請をした。合格者は現時点で46名だが、学校への報告がなく数を把握できていない者もいるので、合格者数はもっと多いと推定される。

○生徒による授業評価についてはお示した資料のとおり、

【質疑・意見 三ツ堀委員】

● 授業評価の時期と方法について教えてほしい。

【質疑・意見 田代委員】

- 生徒へのフィードバックを工夫されたい。
- 保護者には報告を行っている。生徒へのフィードバックはさらに進めていく。

【質疑・意見 伊原委員】

- 授業評価の1回目と2回目の結果の違いについてその要因は把握できるか。
- 把握していない。

ウ 生活グループ

- 事故報告について、約8割が通学途中の自転車事故であり、1・2年次合計で24件であった。交通安全についてさらに注意喚起を行う必要を感じている。
- 相模原地区13校による交通安全高校生大会の幹事校として取りまとめを行った。
- 生徒全体へのフィードバックはまだ行っていない。4月に風紀委員より全生徒へ伝達する機会を設ける。
- スケアード・ストレイトによる交通安全教育を2年連続で実施している。
- 教育相談件数について資料をご確認いただきたい。神奈川県教育委員会より今年度打ち出された対策として「かながわ子どもサポートドック」という取組がある。スクールカウンセラーと連携し各年次で情報を共有し効果をあげている。11月と1月にケース会を設定した。

【質疑・意見 三ツ堀委員】

- 事故について相変わらず多いと感じる。近隣住民からの苦情などいまだにあるか。
- クレームの電話は多い。来年度の交通安全の取組として、JAFに依頼して交通安全教育の機会を設けることを検討している。

【質疑・意見 加賀谷委員】

- 小学校の登校支援をしているが、弥栄高校の生徒は大変協力的である。挨拶もしっかりできる生徒が多数いて、地域には生徒のマナーの良さは理解されていると思う。そのことを生徒にぜひ伝えてほしい。

【質疑・意見 江森委員】

- 部活動（陸上部か）が中学校前を走って練習しているのを見かけるがマナーがよい。歩きながらゴミ拾いをする生徒もいた。こういう姿をぜひ生徒に紹介してほしい。

【質疑・意見 伊原委員】

- 本日、淵野辺駅からタクシーに乗ったが、国道16号交差点付近でさがみはら中央支援学校の保護者の迎車が渋滞している脇を弥栄高校の野球部生徒が整然と歩道側を通行していた。他校生徒で危険な走行を見かけることもある。中央支援学校に対しては学校から意見を伝えてもよいのではないか。

エ 進路グループ

- 資料をご覧いただきたい。大学合格者については現時点で240名程度に達する見込みである。総合型選抜、学校推薦型選抜が増加しており、年内に進路決定する生徒が多い状況。昨年度は合格者数が伸びたが、今年度はやや低迷気味である。特に難関大学の合格者数が伸びない。昨年度は、例えば早稲田大学20名程度が今年度は4名、慶應義塾大も昨年9名が今年度はゼロである。MARCHクラスについては昨年度と大差ない。理数探究基礎や総合的な探究の時間のプレゼン等は大学入試

対策として有効であると思う。これからの入試対策にこれを活用することを進めたい。

- 夏期講習等の課外授業について開講の仕方を工夫することが必要である。
- やえいノートをどう活用しているかについて把握していない。今後の課題となる。

る。

【質疑・意見 伊原委員】

- 年内入試の傾向は高まっているにしても、生徒にとって行きたい大学へ行かせようような進路指導は定着しているのか。
- 担任等の指導の仕方を受験する大学の選択が影響をされることもある。例えば、明星大学や日体大など、スポーツ科学科の教員の語り方いかんで大きく受験希望が影響を受けたこともある。

【質疑・意見 田代委員】

- 指定校（学校推薦型選抜）については従来からの変化はあるか。
- ある。指定校の数がますます増加している。ただし大半の大学への生徒のニーズはない。また、学科指定を伴うことがあったり、英語外部試験の条件などがあったりするため、制約も多い。

【質疑・意見 江森委員】

- 年内の（早期）進路決定について、今後も増えていく予想はあるか。
- STEAM教育など、ペーパーテストのみに依存せずに能力を評価する方向へ移行しないと生き残れない大学が出てくると思う。これからは学校選びが重要。生き残れる大学への入学を指導していくことが必要となるのではないか。
- 「キックバック」という現代政治で話題となっている表現をまったく理解できない教員がいる。この教員はペーパーテストによる従来型の学力試験を一切体験せぬまま受験を経て教員となった。人生の中でいわゆる「知識獲得型の勉強」をする経験の有無は重要なのではないかと思う。
- たとえば本校で行う学術探究の発表にしても、ちょっと調べて発表するのではなく、たとえばアメリカの大学のような（何冊もの書籍を読み込ませ時間と労力をかけて努力する）やり方で、いわば苦勞させることが重要ではないかと思っている。

オ SIグループ

- 文化祭、体育祭を実施し学内4学科が協働して作り上げる行事となった。
- 部活動について、人数調査の資料をご覧いただきたい。加入率は、全体で93%と表示されているが、実態はもっと少ない。部活動は私学に比較して負ける部分も多い。来年度この数字をさらに伸ばしたい。

【質疑・意見 江森委員】

- 部活休養日等を設けて制限するのは公立高校ではどうなっているか。中学校では平日2日休みとしている。相模原市内の中学校は三分の二が17時終了、ロングの活動も認められる（18時まで）。教員の半数はもっとやりたいと思っているのが実態。部活動は実りの多い教育活動だ。

カ 広報・連携グループ

- 広報活動と入学者選抜を所掌するグループとして、コロナ感染症が収まったきたため、広報活動等の制限がなくなり、合同学校説明会が以前のような実施形態に戻ったことを受けてしっかり活動ができています。
- 学校説明会も申込制から予約制に切り替えた。
- 入学者選抜の志願者数も微減ながら1.2倍程度を確保した。安定した出願状況となっている。相模原市全体でも1.2倍程度である。
- 今後の広報活動の方針として、ホームページの更新をてこ入れしたい。またポスターの紹介等も盛り込んでいく。

【質疑・意見 田代委員】

- ホームページのアクセス数を把握・分析しているか。
- していない。可能なシステムとなっていない。
- できれば戦略的に利益となるのではないか。

【質疑・意見 江森委員】

- 中学校ではアクセス数として日に300件だとよい方である。システムが変わって相模原市がホームページの仕様を統一した後、アクセス管理がしづらくなりやめた。Googleのサイトでホームページが作れることを利用して修学旅行の写真などを掲載した。学校の配付プリントも保護者がアクセスできる可能性がある。

キ 総務グループ

- 魅力と特色アンケートを実施。8割～9割が学校生活に満足しているとの回答があった。
- 総合的な探究の時間について、美術科における満足度が7割未満であった。
- 校外活動についても満足度が7割を切っているが、校内の施設や活動が充実していることの裏返しとも言える。
- 大学等との連携については、進めにくい側面もある。

【質疑・意見 伊原委員】

- 対昨年度比で見ると、いくつかの項目で音楽科が飛び抜けて高い数値になったが、昨年度まで新型コロナウイルス感染症で制限を受けた活動が今年度通常に戻ったことの現れでもあるのではないかと思う。
- 年間行事検討プロジェクトチームとして説明申し上げる。本校の学校運営は生徒・教員ともに多忙であることを解消していきたいが、令和6年度のみでは解消が難しいとみており先の年度へ継続的な取組をしていく必要がある。

【質疑・意見 加賀谷委員】

- 地域活動に携わる立場から発言したい。高校生を巻き込んだ事業を立ち上げたいと考えているが、相模原弥栄高校の学生は忙しく、難しいと承知している。公民館やまちづくり会議に高校生がボランティアとしてかかわることを期待している。施設開放についても、保護者や地域の施設活用を促進することで地域と学校の接点ができるのではないかと考えている。

【質疑・意見 田代委員】

- スポーツ科学科の成果発表会を見させていただいた。すばらしい発表であった。弥栄体操について、地域に紹介することで、たとえば高齢者との交流のきっかけになるのではないか。YouTube動画にしたり、DVD作成するなど、工夫が

できるのではないか。このような「コンテンツ」を活用した地域と学校とのつながりも可能だと思う。

- STEAM教育について補足説明申し上げる。今年度は教科等横断的な学びと探究的な学びについて取り組み、前向きな意見が多い。
- やえいノートの活用について、総合的な探究の時間を利用したポートフォリオとすることが可能である。個人的な活動も含めてやえいノートにため込んでいくことがこれからの課題と考えている。

ク 事務長より

- 電気使用量と電気料金について資料をご覧いただきたい。令和4年度の数値が突出していることには県の電力事業者の採択も含め、諸事情が関係している。今年度の数値は低めに推移しており収まっている。

【質疑・意見 田代委員】

- 生徒への節約を働きかけることで、危機意識の涵養につながられるのでは。

(4) 学校運営協議委員より

【五十里校長】

- STEAM教育の指定校となり学校の多忙化は収まり難い状況がある中、働き方改革を今後進めないといけないとの思いがある。
- 活動が多彩で数も多く、学校行事や教育活動の精選が思うように進まない。2年後を見通して進めていく。
- 教職員の健康と余裕を確保することが次年度に向けての課題である。
- 一方で、例えば「理数探究基礎」については、高校教育課が本校の発表内容を基に国レベルでの報告を行うと聞いている。本校の教育活動が県に認められ今後求められる方向につながっていることも確かであると思う。

(6) 閉会の言葉【副校長】

(了)